

安城市内景況調査結果 (2021年10月～12月)

<建設業以外において業況の改善がみられる>

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 101企業
2. 調査対象時期 2021年10～12月期
(1)前年同期(2020年10～12月)と比べた今期の状況
(2)今期と比べた来期(2022年1～3月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	その他	計
企業数	24	18	23	27	9	101
構成比	23.8%	17.8%	22.8%	26.7%	8.9%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを見ると、△3.0ポイントとなり、前回実績（△17.0）を比較すると業況が良化していることが分かる。また、緊急事態宣言が解除されたことによりサービス業などにおいて業況の改善がみられるも、建設業については依然厳しい業況が続いている。

	前年同期比 (前回)	前年同期比 (今回)	来期の 見通し
業況判断	△17.0	△3.0	△3.0
売上高	△19.2	△3.0	△6.1
売上単価	△16.2	△22.2	△15.3
資金繰り	△11.4	△13.1	△5.2
借入難度	△3.0	△4.3	△5.4
収益状況	△18.1	△15.2	△12.2
雇用人員	△9.6	△7.0	△7.2

凡例▶

30以上 10を超える 10～△10 △10を超える △30以上

		全産業											
		製造業		小売・卸業		建設業		サービス業		その他			
前年同期対比	業況判断	△3.0		0.0		0.0		△39.1		14.8		22.2	
	売上高	△3.0		8.3		5.6		△43.5		7.4		22.2	
	売上単価	△22.2		△25.0		△5.6		△43.5		△8.0		△33.3	
	資金繰り	△13.1		△29.2		△16.7		△8.7		△4.0		0.0	
	借入難度	△4.3		△12.5		0.0		△4.5		△4.3		11.1	
	収益状況	△15.2		△25.0		△23.5		△26.1		3.8		0.0	
	雇用人員	△7.0		△8.3		0.0		△21.7		7.4		△22.2	
来期の見通し	業況判断	△3.0		26.1		△11.1		△22.7		△7.4		0.0	
	売上高	△6.1		26.1		△22.2		△31.8		△3.7		0.0	
	売上単価	△15.3		△17.4		△11.1		△27.3		3.8		△44.4	
	資金繰り	△5.2		0.0		△11.1		△9.1		△12.0		22.2	
	借入難度	△5.4		0.0		0.0		△13.6		△12.5		11.1	
	収益状況	△12.2		0.0		△16.7		△27.3		△11.5		0.0	
	雇用人員	△7.2		0.0		0.0		△42.9		3.7		11.1	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。